

国重要無形民俗文化財指定 記念展示 「八王子車人形」を開催しています

車人形は、ろくろ車(箱車)に乗った人形遣いが一人で一体の人形を遣う人形芝居です。幕末に、現在の埼玉県飯能市で生まれた山岸柳吉(初代西川古柳)が考案し、多摩地方を中心とする関東一円に広まりました。養蚕や織物で発展した八王子では、明治時代に伝えられて以来、八王子車人形西川古柳座によって継承され、親しまれてきました。

令和4年(2022年)1月21日、国の文化審議会は「幕末から近代にかけての我が国の人形芝居の変遷を知る上で、重要な位置を占め、(中略)地域的特色も示して重要である」(文化庁ホームページより)として、重要無形民俗文化財への指定を文部科学大臣に答申し、指定の見通しとなりました。これを記念し、八王子車人形のコーナー展示を開催します。

- 1 会期** 第一期：2月11日(金)から3月8日(火)まで
第二期：3月9日(水)から3月31日(木)まで

※第一期と第二期で、人形の^{かしら}首や衣装などの展示資料を入れ替えます。

- 2 会場** 桑都日本遺産センター 八王子博物館 (サザンスカイタワー 3階)

3 主な展示資料

第一期：立役首(又平)、立役首(口開き文七)、三番叟衣装、
立役人形(落武者)、立役人形(敦盛)、ろくろ車他

第二期：女形首(娘)、女形首(中国の女)、女形人形(お七)、
ドレスの人形、三田村鳶魚の日記他



ステージ上の展示(前期)



左から

文七の首（第一期展示）・敦盛人形（第一期展示）・打掛け（第二期展示）
（展示資料は、西川古柳座所蔵）

<問い合わせ>

生涯学習スポーツ部文化財課長 菅野 電話042-620-7265